

# 「はたらく」「つながる」 ～認知症の人とともに～

今回の地域密着協地域包括ケア研修会は若年性認知症の当事者 さとう みき 氏 と 下坂 厚 氏 をお招きし、対談形式で、認知症の人とともに「はたらく」こと、人や社会と「つながる」ことの大切さやその意味を考えます。コーディネーターは、社会保障審議会・介護給付費分科会の委員や人とまちづくり研究所の代表理事、認知症未来共創ハブのリーダーを務める堀田聡子先生です。また、対談に先立って京都橘大学の小川敬之先生に、作業療法士の視点から見た認知症の人の社会参加についてご講演をいただきます。

認知症と向き合いながら、積極的に社会とつながる当事者のお話を、たくさんの方に聞いていただきたいと思い、福祉・介護等にかかわる専門職のみならず、多くの皆様と共有し、認知症の人と共に地域で暮らし続けることについて考える機会としたいと思います。ご利用者ご家族をはじめぜひ多くの皆様にお声かけをいただきご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

日時 : 令和3年11月14日(日) 15:00~17:00

場所 : キャンパスプラザ京都 第4講義室 + オンライン

テーマ : 「はたらく」「つながる」～認知症の人とともに～



参加費 : 無料

定員 : 会場:50名・オンライン260名(会場・オンライン共 先着順)  
会場が定員に達した場合オンラインへご案内をします。  
(オンライン申込の方へ11/12までにZOOMURLをメールで送ります。)

参加対象者 : 福祉・介護・医療に係る専門職および関心のある方どなたでも。

15:10~15:50 ①「はたらく」「つながる」作業療法士の立場から

京都橘大学 教授 小川 敬之 氏

16:00~17:00 ②対談 さとう みき 氏  下坂 厚 氏 

コーディネーター 慶應義塾大学大学院教授 堀田 聡子 氏

サポーター 高齢者総合施設紫野 施設長 河本 歩美 氏

## お申込み

下記をメールかFAXを送信、又は研修サイトURL・QRコードの研修サイトからお申込み下さい。

| 所属・事業所名など | 受講者名 | 職種           |
|-----------|------|--------------|
| EMAIL     | TEL  | 受講の方法○をして下さい |
|           |      | 会場・オンライン     |

一般社団法人京都地域密着型サービス事業所協議会事務局 宛  
FAX : 075-354-8770  
EMAIL : kyoto-tiiki-mittyaku@lime.ocn.ne.jp  
研修サイト : <https://sites.google.com/view/zentaikensyu>



主催 : 一般社団法人京都地域密着型サービス事業所協議会

協力 : 認知症未来共創ハブ

# 講師プロフィール

## さとうみき 氏

東京都在住。大学病院や電気メーカーで秘書として働いた後、結婚出産。子育て中に長年体調を崩し少しずつ回復の兆しが見え始めた矢先の2018年秋、認知症を扱ったテレビドラマがきっかけで自ら認知症を疑い、年末に認知症専門医を受診。2019年1月、若年性アルツハイマー型認知症と診断された。認知症と向き合い葛藤する日々を経て、現在は当事者同士のサポート活動のほか少しずつ情報発信を行いながら、夫と高校生の息子、犬とともに暮らしている。（なかまある より <https://nakamaaru.asahi.com/author/11006407>）

## 下坂 厚 氏

2019年8月に若年性アルツハイマー認知症と診断を受ける。46歳。大手鮮魚店で勤務の後、友人と会社を立ち上げる。しかし、病気が発覚後、仲間に迷惑をかけたくない思いから会社を退職、絶望の気持であった。認知症初期集中支援チームを通じて西院デイサービスを紹介され、現在はケアワーカーとして正職員で勤務。今の自分だからこそできること、発信することを模索しつつ社会的活動を開始している。昔は写真家であり、自身のInstagramの写真は圧巻である。（なかまある より <https://nakamaaru.asahi.com/author/11007233>）

## 堀田 聡子 氏

慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 教授

京都大学法学部卒業後、民間シンクタンク研究員、東京大学社会科学研究所特任准教授、オランダ・社会文化計画局研究員 兼 ユトレヒト大学社会行動科学部訪問教授、労働政策研究・研修機構研究員、国際医療福祉大学大学院教授を経て2017年4月より現職（医学部兼任）。博士（国際公共政策）。

社会保障審議会・介護給付費分科会及び福祉部会（厚生労働省）、政策評価審議会（総務省）等において委員を務めるほか、医療介護福祉政策研究フォーラム理事・地域包括ケアイノベーションフォーラム事務局・人とまちづくり研究所代表理事等として、地域包括ケア・地域共生社会、compassionate community、dementia friendly community等を手がかりに、より人間的で持続可能なケアと地域づくりに向けた移行の支援及び加速に取り組む。中学生の頃より、おもに障害者の自立生活の介助を継続。訪問介護員2級／メンタルケアのスペシャリスト。日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー2015リーダー部門入賞。

## 小川 敬之 氏

京都橘大学 健康科学部作業療法学科 教授

労働福祉事業団九州リハビリテーション大学校を1986年に卒業、その後、神戸労災病院、日本赤十字社今津赤十字病院、日赤特別養護老人ホーム豊寿園の作業療法士を経て、宮崎県にある九州保健福祉大学に勤務。その間、若年性認知症の方、引きこもりの方の就労を意図としたNPO法人地域支援センターつながり、社会的企業（合同）さーて黒潮を設立。2018年より京都橘大学健康科学部作業療法学科教授として勤務。京都に来てからNPO法人地域共生開発機構ともつ副理事長、京都大学医学部非常勤講師を兼務している。博士（医学）

現在、宮崎県にあるNPO、合同会社、京都のNPO、老舗料亭、製材所、林業、建築会社、清掃会社、手芸会社、印刷企業などと連携しながら、どんな状況にあっても、「できないことは手伝い、できることを奪わない」のもと、就労、就労的活動、社会参加のあり方を模索している。